

ヘルメット用の安全お守り

たじま安全衛生好楽事務所

安衛縦断こころ旅①

新年の恒例行事として各地で行われる企業・工場などの「安全祈願祭」はいつ頃から始まったのかは定かではありませんが、伊勢神宮の式年遷宮での工事安全(地鎮祭)、金比羅宮の航海安全などは古来(神話の世界)から行われていたようです。

また、安全に係るお守りも各種ありますが、「ヘルメット用の安全お守り※」はご存じですか？何もせずに「神頼み」だけでは困りますが、新年に気持ち新たに安全を誓う、無事故を祈願するのも大切かと思います。

※ 瀬戸内海の愛媛県今治市大三島(世界が認めた“サイクリストの聖地”しまなみ海道の中心の島)にある大山祇(おおやまづみ)神社は、日本総鎮守として海の神、山の神、戦の神としても信仰があり、源頼朝・義経など多くの武将にも愛されました。戦勝祈願やお礼として奉納された甲冑は国宝となり宝物館に展示されています。



兜は、現代の戦場とも呼ぶべき各種職場でのヘルメット、自転車、オートバイなどのヘルメットにも通じることから、ヘルメットに貼付する小指ほどの小さな「ヘルメット用の安全お守り」をいただくことができます。



年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと、中央労働災害防止協会が主催する運動で、本年度で55回目を迎えます。